

9月7日(土) 研究発表1 第9室(1140)

リベラル・アーツとしての英語教育の方法 Art of English Education in Liberal Arts Curricula

江藤 裕之(清風英語学研究所)

1. 研究の理念的背景と目的

コミュニケーション手段のひとつである言語の最も重要な特性は、言語によって人間が外界を認識しているという点、そして言語による表現過程を通して思考を明快にしているという点にある。理性・言語・思考は不可分であり、明晰で論理的な言語表現は、人間精神もまた明晰で論理的であることの証左と考える。このような言語の本質的特性は言語教育において重視されるべきである。つまり、言語の理性的側面を鍛える「思考訓練の場としての言語教育」、すなわち思考に値する他者の言語表現を分析・理解し、言語を駆使して自らの思考を明快に表現する訓練こそ、知力を鍛える教育の基礎となるべきである。西洋の学問の伝統において文法・論理・修辞という言語理解・表現に関する科目が、諸学の基礎であるリベラル・アーツ(自由学芸)の基礎三科として位置づけられていたことは象徴的である。

英語は現代に「生きる言葉」であり、それも今日の世界共通語としての役割を担う言語である以上、とりもなおさず英語を「使える」ようにすることが英語教育の目標であることは言うまでもない。しかし、語学はあくまでも手段であり、究極の目標はそれを使って世界に貢献する人材の知的基盤を作り上げることである。そのためには、英語の習得を基礎に据え、教養教育を目指したリベラル・アーツを根幹としたカリキュラムの確立が求められる。

本報告では、アメリカにおける Great Books Project の方法と Liberal Arts College における外国語カリキュラムの事例報告を交えつつ、日本で基礎英語教育を終えた学生の知的関心を満足させるような英語カリキュラムを考えてみたい。

2. リベラル・アーツとしての英語教育の方法

(1) リベラル・アーツとしての英語教育の位置付け

リベラル・アーツ: 諸学の基礎となるような原理的なものの見方、考え方を習得することを目標とし、すべての学問に共通する本質的事項の理解を推進するための基礎教育。

第1段階 → Input(聞く、読む)とOutput(話す、書く)の徹底した基礎訓練(正しい「型」の習得)

↓

リベラル・アーツとしての英語教育

↓

第2段階

目的として→基礎三科(文法、論理、修辞)の習得で論理性思考、本質的志向へ

手段として→Great Booksを題材にした理解と対話(産婆術)から

Great Ideasの世界へ

(2) アメリカにおける Great Books Project

- Mortimer J. Adler による Great Books Seminar
- Great Books をテキストに、対話的手法による内容理解と自己表現能力を高める
- Great Books に学びながら、人類が大切にすべき基本的・普遍的価値について考える
- 「対話」から、「読む・聞く・話す・書く」を体系立てて学ぶ
- Great Books から Great Ideas へ(「分析読書」から「シントピカル読書」へ)

(3) アメリカの Liberal Arts College における外国語教育の一例

- Maryland 州 Annapolis の St. John's College の事例から
- 徹底した「訳読主義」外国語教育
- テキスト理解(分析能力)と雄弁術(説得能力)のための外国語教育
- 比較(対照)言語学的手法
- 「言語と思维の不可分性」という言語観に基づく外国語教育
- リベラル・アーツ教育への動機付けを目指した外国語教育

3. 提言

- Pedagogy から Andragogy の英語教育へ
- 講義式から対話式(参加型)の英語授業へ
- 教師の役割をインストラクターからモデレーターへ
- 英語教育を通じて Learning to learn の実践へ
- 英語教育を通じて、英語の背景に存在する英米人のものの見方、さらには西洋人の思考のバックボーンへと迫る
- Skill から Art (テクネー) への英語教育へ
- 英語を手段に「新たな学び」の世界へ(「学歴社会」から「学習社会」への誘い)

参考資料

- Adler, Mortimer. 1952. *The Great Books of the Western World*. Chicago: Encyclopaedia Britannica. [2nd ed. 1990].
- 1977. *Reforming Education. The Opening of the American Mind*. Ed. Geraldine Van Doren. Macmillan: New York.
- 1983. *How to Speak, How to Listen*. Macmillan: New York.
- 1984. *The Paideia Program. An Educational Syllabus*. Macmillan: New York.
- Adler, Mortimer & Charles Van Doren. 1972. *How to Read a Book*. MJF: New York. [1st ed. by M. J. Adler 1940].
- St. John's College. Where Great Books are the Teachers.*
- The Liberal Arts. A Brief Explanation for Students, Parents, and Counselors.*
- 松田義幸, 須賀由紀子, 江藤裕之. 1999. 『グレート・ブックスとの対話—「学習社会」の理想に向けて』K-FACE 叢書 5, 神奈川: かながわ学術研究交流財団